

土木工学・建築学委員会企画分科会

環境工学連合小委員会（第24期・第3回）議事録

日 時 平成 30 年 9 月 25 日（火）13:00～15:00

会 場 日本学術会議6階 6－C (1) (2) 会議室

出席者

米田、嘉門、宮崎、森口、飯田、梅村、木村、小口、坂巻、新苗、西嶋、藤倉、村上  
オブザーバー 河瀬（日本化学会）、柳（空気調和・衛生工学会）

議 事

1. 前回議事録の確認

- ・ 前回議事録案にそって議事内容の確認を行った。

2. 第31回環境工学連合講演会の開催報告

- ・ 資料2にそって開催報告の説明があった。参加者は180名であった。

3. 第32回環境工学連合講演会の企画概要案について

- ・ 次期幹事学会より、資料3にそって実施案の説明があった。
- ・ 開催趣旨については、次期幹事学会からの提案どおりに決定された。
- ・ 時間枠に関しては以下のような意見があった。
  - － パネルディスカッションに1時間程度は必要ではないか
  - － 基調講演は会の最初に実施するのが良いのではないか
  - － 遠方からの参加者の移動や運営を考え朝10時の開始が望ましい
- ・ 今後、これらを踏まえ、基調講演、2 パラレルセッション、パネルディスカッションという流れを前提に次期幹事学会において実施案を具体化させる。それをふまえて、今後講演者の選定などを進めていくこととなる。
- ・ 来年の連合講演会は2019年5月21日（火）に開催することが内定した。

4. 第33回以降の環境工学連合講演会の運営体制について

- ・ 委員長より資料にそって、議論の経緯、各学協会の考えなどについて説明があった。
- ・ 今後の連合講演会の運営体制について意見交換を行った。その結果、これまでの8幹事学会を主としつつ、他の学協会にも副担当として入っていただき作業分担をしながら進めていく方向で今後も議論していくことを確認した。また、本日の欠席学会にもそのことについての賛否を確認する。
- ・ 主・副分担での運営を円滑に行うには、作業の明確な区分け（例えば、総務・学術・当日運営のなど）やマニュアル化が必要との意見が述べられた。
- ・ 来年の講演会で、副幹事学会を設定して試行してみることもなった。具体的には環境資源工学会、廃棄物資源循環学会が次期幹事学会である資源・素材学会を主として内容面でフォローする中で、副幹事学会が果たす機能を確認することとなった。
- ・ 現在本小委員会に参加していない学協会にも講演の呼びかけるべきとの意見があった。関連して、過去にも共催にはならないが講演のみ行う学協会があったことから、そのようなケースを問題としないことを確認した。

5. 小委員会の今後の検討課題について

- ・資料5にそって、委員長より経緯や各学協会からの意見の説明があった.
- ・環境工学講演会開催以外を含めた小委員会の活動の可能性や、ホームページ開設などの広報活動のあり方などについては、今後も継続的に議論していくこととした.

6. その他

- ・次回の小委員会は、1月16日（水）10:30－12:30に開催する.

配布資料

- |      |                             |
|------|-----------------------------|
| 資料 1 | 環境工学連合小委員会（第 24 期・第 2 回）議事録 |
| 資料 2 | 第 31 回環境工学連合講演会開催報告         |
| 資料 3 | 第 32 回環境工学連合講演会企画概要案        |
| 資料 4 | 第 33 回以降の環境工学連合講演会の運営体制について |
| 資料 5 | 小委員会の今後の検討課題について            |